

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	N.O	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	タイ王国
派遣大学	チェンマイ大学		
期間	2022年 11月 1日～ 2023年 4月 6日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <del>学外の学生寮</del> / アパート / その他 ( )					
部屋	<del>個室</del> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン		冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 ( 25000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 5 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	12000 円	近くの屋台や学食で済ましていた。
学用品購入費	2000 円	制服や文房具など
交通費	2000 円	配車アプリを使用した
交際費	4000 円	
その他	円	
<b>合計</b>	<b>20000 円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

女性であっても、真夜中に細い道を通らない限り治安は問題ないと感じた。特に、大学周りのお店は夜遅くまで営業しているので明るい場所が多い。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 12 ) ヶ月間	保険料	( 1800 ) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 ( <b>チェンマイ</b> )
-------------------------

【学業編】

1. 大学情報

大学	チェンマイ大学	所在地	タイ王国
最寄空港	チェンマイ国際空港	空港からの距離	バイクで10分
空港⇄大学	( バイクまたは車で15分 ) *移動手段		
学生数	約30000人	留学生数	不明
学部	<p>□□□、□□□□□、□□□、□□□、□□□、□□□□、□□□、□□</p> <p>□□□□、□□□□、□□□、□□□□、□□□□、□□□□、マスコミ</p> <p>ユニケ□ション□□、□□□、□□□□□□、□□□□□</p> <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>人文学部 / 英語専攻(日本人学生は日本語学科所属での登録)</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① ( 11 )月～( 3 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	2 限 Thai Society and Culture	1 限 Oral Expression		2 限 Thai Society and Culture	1 限 Oral Expression
午後		5 限 Thai in Everyday Life			5 限 Thai in Everyday Life

② ( )月～( )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

### 3. 履修内容

科目	Thai Society and Culture		
履修期間	2022年11月～2023年3月	単位数	3
授業内容／形態	対面		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	東南アジア史	
	単位数	2	
	担当教員	柿崎 一郎	

科目	Oral Expression		
履修期間	2022年11月～2023年3月	単位数	3
授業内容／形態	対面		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	Advanced Practical English I r (Speaking)	
	単位数	2	
	担当教員	ガードナー トーマス	

科目	Thai in Everyday Life		
履修期間	2022年11月～2023年3月	単位数	3
授業内容／形態	対面		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	アジア諸言語II (タイ語)	
	単位数	2	
	担当教員	柿崎 一郎	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	N. O	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4 年	派遣国	タイ王国
派遣大学	チェンマイ大学		
期 間	2022 年 11 月 1 日～ 2023 年 4 月 6 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Thai Society and Culture
講義内容	ジェンダー、仏教、国民性、現代社会等のテーマに合わせてタイを学問的に見つめる講義。講義内容に関するプレゼンテーションやディスカッションを行う時間が多く設けられた。
科目	Oral Expression
講義内容	英語の中でも特にスピーキング力を重視した講義。日常会話を強化する目的のテーマが多く、道案内や料理の作り方に関する説明等、実用的な英語を学ぶことが出来た。
科目	Thai in Everyday Life
講義内容	タイ語の 4 技能を幅広く身につけることを目的とした講義。文字の学習から短い文章を読めるまで、日常会話がスムーズに出来るまでに力を伸ばすことが出来た。
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	



<総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

今回のチェンマイ大学への交換留学プログラムへの参加は、感染症流行の影響による1年間の延期を経て、やっとのことで実現出来たものであったため、とても期待値の高いものでした。私が今回の交換留学を通して学ぶことが出来たと感じていることは大きく二つに分けられます。

一つ目は自ら考え、積極的に行動することの大切さです。準備期間を含む全ての留学生活において、今までに経験したことのないことに挑戦する場面や新しい環境に身を置く機会が多くありました。例えば準備期間でのビザの発行や航空券の購入、現地での外国語での様々な手続き等が挙げられます。それらの中で、自分自身で前もって情報収集や準備を行い、行動を起こさなければ対応が出来なかったのではないかと怖さを感じる場面もいくつかありました。今までの生活では緊急事態であっても周りの方に丁寧な対応をしてもらう機会が多かった上、言葉が通じるのが当たり前という環境にいた為、あまり意識したことがありませんでしたが、改めて異国の地で暮らすことの大変さを学ぶことが出来た良い経験になりました。加えて、日本に住む、或いは観光で訪れる外国籍の方に対しても困っているように見える場面があれば積極的に声がけを行うようにしたいと考えられるようになりました。

二つ目は人と向き合い、関わる際に色眼鏡をかけて相手を見ないことの大切さです。チェンマイ大学というタイ王国にある大学に留学をしたものの、共に学ぶ学生の国籍やバックグラウンドは多岐に渡っていました。だからこそ、授業の中で一つのテーマについてディスカッションをする際に様々な国の事象を例とした意見を聞き、話し合う機会が多くありました。その際に感じたのはそれぞれの国の学生は自分の中での自国に対するイメージと他国から持たれるイメージの差を意識する機会をあまり持たないということです。日本の学生の代表という意識でいる大切さを感じることは多かったものの、同じ大学で共に学ぶ仲間として様々な国の人との親睦を深められたことがこの留学生活を通して得ることの出来た大きな成果でした。

タイではスカートを履き、髪を長く伸ばした男性をよく目にすることが多くありました。日本ではあまり目にしない光景で初めは驚いてしまいましたが、周りの友人の「LGBTQという言葉が流行っているけれども、その格好の人がその対象とは限らない。それぞれのファッションの好みを認め合う考え方を皆が持っている。」という言葉にはハッとさせられました。タイで出会う人々は皆、私に対して一人間としてとても優しく接してくれました。慣れない土地での生活の中で初対面の方のタイスマイルに元気をもらう場面も多く、大学内の授業だけでなく、周りの人々からも多くを学ぶことが出来た、充実した5ヶ月間でした。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

以前より日本企業の東南アジア諸国への進出事業に関心があったこと、英語を始めとする語学力の向上を目標としていたことから今回の留学は選択をしました。その中で、留学期間が就職活動の時期と被っていたことから、現地でも将来について考える時間は自然と多くなりました。直近では、公式の英語試験やタイ語検定への挑戦を予定しています。現地での学びを活かし、今後も今まで以上の語学力が目指せるよう、努めていきたいです。また、ゼミ内で卒業論文の執筆が始まっており、テーマを東南アジア地域関連のものに決定したためその中では現地で友人との会話を通して学んだことや授業内で得た知見を活かしていきたいです。最後に、就職活動を終え社会人になる立場としては今後、何らかの形で今まで培った語学力を活かした活動やタイに関わる仕事に携わりたいという思いがあります。残りの大学生活の中ではより多くの国の文化や考え方に触れ、人柄以外でも周りの信頼を得られるような人間に成長したいです。そして、目標を立てて留学に挑戦したように、5年後、10年後の目標を立てることを意識しつつ社会人として多くのことに挑戦していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学生活を終えて、これから留学を希望される方に向けて、私は二つのことを意識することをアドバイスさせて頂きたいです。

一つ目は、留学先に対してどんなに小さなことであっても関心を持つことです。私は留学の準備期間において日本に住むタイ人の方とお話をさせて頂く機会が何度かあり、その中で国の文化や国民性をはじめにタイについて深く学びました。これが現地の生活でとても役立ったと感じています。普段の買い物で店員さんと会話をする際やタイ人の学生と共に授業を受ける際に、前知識があるのとないのとでは雲泥の差があると思います。自分の国に対して興味を持たれることに対して嫌だと思える人は中々いない上、自分の学びを深めることにも繋がるため、自分の国と留学先の国についての理解を深めることを強くお勧めします。

二つ目は、自分から行動を起こし、状況を把握するようにすることです。大学の手続きが日本のそれとは全く異なるものであったこと、留学自体が初めてであったことから状況が読めず不安に思う場面が何度かありました。その中で、前もって着実に準備を進めておくことの大切さを強く感じました。行ってしまえばどうにかなるという考え方も大切だと思いますが、周りに頼りすぎず自分で考えて行動することが留学の充実度を変えると断言できます。

皆さんの留学生活が充実したものとなることを、心から願っています。